

刊行にあたって

私たちの今日の生活は、その地に暮らした先人の努力や知恵によって築かれた社会の上に成り立っています。

県立文書館には、このような人々の考えや行動を今日に伝える『群馬県史』で使用した資料や県庁から移管された文書、県民の皆さんから寄託、寄贈をいただいた古文書などが多数保管され、県民の方々に閲覧できるようになっています。

本書はこの中から学校教材として使用可能な史料を選定し、表題のとおり「授業で使える ぐんまの資料」として刊行するものです。

これらの史料は、行政資料や古文書が多いことから、少し取り付きにくい部分もありますが、県内に関わる人達の記録や史料ですから、必ずどこかに共鳴する部分が含まれています。工夫してご利用していただければ幸いです。また、掲載資料には年代的・地域的な偏りが生じている部分もありますが、あえて当館収蔵史料のみで刊行しました。

学校におかれましては、これら文書館に保存・管理する資料をとおして、身近な地域の歴史的な風景や背景を学習し、それぞれの地域に対する理解を深める資料としてご利用いただければ幸いです。

なお末尾ながら、刊行にあたりお世話になりました方々に、心より御礼申し上げます。

平成16年3月

群馬県立文書館

館長 秋 池 武